

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和6(2024)年度

施設名	栃木県グリーンスタジアム
施設所管課	栃木県生活文化スポーツ部スポーツ振興課
指定管理者	北関東総合警備保障株式会社(法人番号 9060001001355)
指定期間	令和6(2024)年4月1日～令和11(2029)年3月31日

1 施設の概要

施設所在地	宇都宮市清原工業団地 32 番地	
施設の概要	① 敷地面積	93,820.00㎡
	② 延床面積	10,307.91㎡
	③ メイングラウンド(西洋芝)	11,304㎡
	観客席数: 15,227席	
	④ サブグラウンド(人工芝)	8,395㎡
	⑤ 管理棟	6,769.39㎡
	(大会議室、小会議室、事務室、貴賓室、選手控室等)	
	⑥ バックスタンド	2,701.31㎡
	⑦ 諸室棟	769.79㎡
	(会議室1～会議室7)	
業務内容	① 栃木県グリーンスタジアムの維持管理に関する業務 ② 栃木県グリーンスタジアムの施設等の利用許可にかかる事務に関する業務 ③ 栃木県グリーンスタジアムの施設の運営に関する業務	

2 収支の状況

令和6(2024)年度

(千円)

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	67,339	指定管理※2	事業費	-
	利用料金収入	13,712		管理運営費	49,726
	その他収入※1	-		人件費	19,512
				その他支出※1	11,423
	合計	81,051		合計	80,661
指定管理業務収支差額①		390			
自主事業		540	自主事業	115	
自主事業収支差額②		425			
収支差額(①+②)		815			
備考(※1 その他収入の主なものを記載)			備考(※1 その他支出の主なものを記載)		
			・人件費の法定福利費 16% : 3,122 千円 ・修繕積立金 : 8,159 千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	68,000	指定管理※2	事業費	-
	利用料金収入	-		管理運営費	52,821
	その他収入※1	2,221		人件費	21,961
				その他支出※1	-
	合計	70,221		合計	74,783
指定管理業務収支差額①		▲4,562			
自主事業			自主事業	-	
自主事業収支差額②					
収支差額(①+②)		▲4,562			
備考(※1 その他収入の主なものを記載) ・物価高騰支援金 2,221千円			備考(※1 その他支出の主なものを記載)		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

### 3 利用状況

施設名	項目	令和5(2023)年度 (前年度)	令和6(2024)年度 (今年度)
メイングラウンド	利用日数	74日	80日
	利用者数	36,794人	43,119人
	平均利用者数	497人	538人
サブグラウンド	利用日数	287日	288日
	利用者数	35,542人	34,820人
	平均利用者数	124人	120人
会議室	利用日数	100日	90日
	利用者数	3,518人	4,142人
	平均利用者数	35人	46人

### 4 サービス向上に向けた取組

1	お客様を(利用者・団体・観覧者)第一に考え、職員の接客マナーの向上を図りCSを高め、お客様が気持ち良く施設を利用して頂けるよう努めた。
2	施設全体の美観向上の為、植栽管理や清掃業務に力を入れた。
3	円滑に大会等が実施されるように主催者と綿密に事前打ち合わせを行い、要望等を細かく伺い、施設管理者としてアドバイス、助言等を行った。
4	ホームページに翌月以降の利用予定表(予約状況)を掲示し、利用者が予約しやすいよう利便性を図った。
5	開場日は昼夜を問わず施設全体を職員が巡回し、安全・安心な利用が出来るよう危険防止に努めた。また、巡回時に修繕箇所を発見した場合は、直ちに修繕・補修を行うと共に、所轄課へ報告を行った。
6	弊社が芝管理者となっているカンセキスタジアムと連携し、芝の養生期間や利用不可日が重ならないよう調整を行い、利用者へのサービス向上、両施設の利用頻度の向上を図った。
7	枯木や朽木等の伐採を実施し、落枝、倒木等の危険防止を図った。
8	飲料及びアイスの自販機を設置し熱中症対策やサービス向上に努めた。

5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用団体への意見聞取や意見箱の設置、電話、ファックス、メール等による利用者意見の把握に努めた。</li> <li>・利用者アンケートの結果 回答者数 31名</li> </ul>			
アンケート項目	満足	普通	不満
①スタッフの対応	97%	3%	0%
②スタッフの手際（サービス）	97%	3%	0%
③スタッフの説明	97%	3%	0%
④スタッフの知識	97%	3%	0%
⑤施設の安全管理・安心な環境	97%	3%	0%
⑥施設の清掃・整備	97%	3%	0%
⑦用具・器具の種類と数	80%	16%	3%
⑧情報発信・案内掲示	83%	16%	0%
主な利用者意見（苦情・要望）	対 応		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サブグラウンドのトイレが和式である為使えない子供が発生、苦情となりました。</li> <li>・サブグラウンドにシャワールーム設置要望がありました。</li> </ul>	それぞれ、利用者の意見として、県に報告いたしました。		
主な利用者意見（積極的評価）			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大会開催のメイングラウンド利用者から、芝が綺麗で気持ち良くプレーができた。</li> <li>2 利用者及び観客からメイン・バックスタンド、サブグラウンドのトイレの清掃が行き届いており高評価をうけました。</li> <li>3 植栽管理を徹底したことで「グリスタの景観がスッキリして見違えた！」とSNSで取り上げられた。</li> </ol>			

6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 栃木県ラグビーフットボール協会、栃木県サッカー協会、栃木SC、清原工業団地管理組合等の主な利用者として情報を共有し、連携を密に取った事により、スムーズな対応が出来た。</li> <li>2 10年以上利用がなかったラグビーを再び開催し、地域及び利用の活性化、新規顧客先の開拓に努めた。</li> <li>3 ホームページに翌月以降の利用予定表（予約状況）を掲示し、利用者が予約しやすいよう利便性を図った。</li> <li>4 Jリーグによるピッチ（グラウンド）評価では2試合平均で9.55点（満点10.0点）と評価された。</li> <li>5 施設全体の美化に力を入れ、植栽管理や清掃業務を実施。利用者及び来場者（観客）の施設利用の満足度向上に繋がった。</li> <li>6 サブグラウンドの利用者への安全管理を徹底し（落葉・倒木等）、速やかに収集・撤去を実施した。</li> <li>7 サブグラウンド駐車場利用者へ、周辺住民及び工場の迷惑にならないように、張り紙等の注意喚起を行い速やかに対応した。</li> </ol>
映像装置活用、サブグラウンド利用促進、周辺環境美化等
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大型映像装置（オーロラビジョン）について、Jリーグ、県大会レベルに限らず大型映像装置の活用を積極的にPRした。</li> <li>2 人工芝のサブグラウンドは人気が高く、毎月予約が重なってしまうが、当社で極力利用者の要望が通るように調整し、一団体に偏ることのないよう平等利用を確保した。</li> <li>4 サブグラウンドの植栽管理を徹底し、応援者や付き添いの方が安心・安全に観覧できるようにした。</li> </ol>

5	大型利用（NEZASカップ、Jリーグ、天皇杯等）の前は、特に敷地内の枯木伐採及び剪定を徹底して行い、多くの方にきれいなグリーンスタジアムの提供に努めた。
6	LRT の車窓からの景観を考慮し、路線周辺の美化に努めた。
今後改善・工夫したい事項	
1	利用者の満足度向上の為、利用者や大会主催者の立場に立った利用情報の提供を心掛ける。
2	栃木県スポーツコミッションとの連携を強化し、大会・合宿の誘致に協力したい。
3	サッカーに限らず、ラグビー場としての利用も検討したい。
4	施設開場後30年以上が経過しており、建物や備品類、機械類の経年劣化が数多く見られることから、きめ細やかな点検・確認作業を実施し、不具合修繕箇所の早期発見に努める。
5	令和8年度からの三重ホンダヒートのグリーンスタジアム本拠地移転に伴い情報を共有し連携を密にとり栃木県のスポーツ発展に寄与したい。

## 7 所管課による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	利用者調整会議により平等利用を確保している。	B
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	適正に行使している。	B
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか	研修等で学んだ知識を生かし、分かりやすい説明を心掛ける等の配慮がなされている。	B
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	サッカーやラグビー等の様々な大会の利用を促進し、スポーツの普及振興を図り、県民の健全な心身の発達に寄与する目的に沿った事業が実施されている。	B
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	ホームページに翌月の利用予定表（予約状況）の掲示や電子パンフレットの新規作成により、利用者の県民サービスの向上に取り組んでいる。	A
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	利用者アンケートを実施し、利用者の満足度の把握、向上に努めている。	B
	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	適切に対応している。	B
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	施設等の点検、修繕等を適切に行っている。	B
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	これまでの管理運営のノウハウを生かし、作業内容を精査することで、適切な施設管理に努めている。	B
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	①組織体制は適正か	職員の適正配置により、円滑な施設運営に努めている。	B
	②収支は適正でバランスがとれたものか	令和6年度から収入が支出を上回っており、適正でバランスがとれたものといえる。引き続き利用者の増加に向けて、施設PRを検討いただきたい。	B

	③経費の縮減に取り組んできているか	昨今の物価高騰等により経費の増額が見られたが、照明点灯方法のルール化により使用量等の削減に努め、経費の縮減に取り組んでいる。	B
	④人材育成は適切に実施されているか	現場での研修のほか、本社の研修にも参加するなど、人材育成に積極的に取り組んでいる。	A
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	警備会社の特性を生かし、優れた危機管理体制が確保されている。	B
	⑥県や関係機関との連携ができているか	打ち合わせを綿密に行うことで、県や関係機関と連携をはかり、適切な管理運営を行っている。	B
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報取扱特記事項を遵守し、適正な取扱を確保している。	B
	②情報公開は適切になされているか	情報公開規定を策定しており、開示要求には適正に対応する体制を整えている。	B
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	利用者アンケートを実施しニーズを把握するなど、適切に分析・評価している。	B
	②自主事業が計画どおりに実施されているか	令和6年度から飲料及びアイスの自販機を設置し、熱中症対策やサービス向上に努めた。	B
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られているか	地域の交流サッカー大会の開催に協力するなど地域との連携が図られている。	B
	④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	裏紙使用やゴミの分別を徹底するなど環境に配慮している。	B
	⑤その他管理運営上の特記事項	これまでの経験やグリーンキーパー等の意見を取入れ芝管理を実施し、芝の生育状況の安定化につながった	A
総合的な評価			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者のニーズに配慮した管理運営を行い、サービスの向上に取り組んだ結果、昨年よりも高い利用者満足度を得ることができ、収支差もプラスに転じた。</li> <li>・昨今の物価高騰等による経費の増額があったが、光熱水費等の削減に努め、施設の適切な管理を行った。</li> <li>・令和8年度から三重ホンダヒートが栃木県グリーンスタジアムを本拠地とすることに伴いラグビーの利用が増加することが想定されるが、サッカーとラグビーの双方が大きな盛り上がりを見せる施設となるよう、利用調整や施設のPR等に努めていただきたい。</li> </ul>			

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して優れた取組となっている。
- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。